

カ タ リ ナ

学報

第49号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2022. 12. 1



私学ガバナンス（統治）の行方

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



2021年12月3日に文部科学省の「学校法人ガバナンス改革会議」から、現行の理事会に代わり、学外関係者のみで構成される評議員会を最高監督、議決機関とし、学校法人の寄附行為の名称を社会福祉法人格の定款とするなど、従来の学校法人制度の抜本的改革案を求める報告書が提出された。

このような提言を受け、日本私立大学団体連合会（田中愛治会長：早稲田大学総長）及び日本私立短期大学協会（関口修会長：郡山女子大学短期大学部理事長・学長）は同日次のような声明を発表した。

「学校法人の基本構造を変更するという極めて重要な議論が拙速に進められたことは誠に遺憾。議会制民主主義を補完する国民参加機関としての審議会（大学設置・学校法人審議会）の議を経ることなく、さらには教育審議会関係者の声を反映させることなく勧められたことは大きな懸念を抱く」と

訴えた。

同改革会議は、私学関係者の度重なる不祥事を受け、当初から教育現場の関係者を利害関係と位置づけ、できる限りその弊害を排除したいという姿勢を示し、改革案として株式会社等のガバナンス体制を強く意識した機関設計を行ったのがその特徴といえる。その中で、特に評議員会を株主総会と同視し、コーポレートガバナンスの考え方をそのまま私立大学の経営に導入しようとする点は、理論上合理性に欠くものと言わざるを得ない。

私立大学において、最も重要なステークホルダーは学生とその保護者であり、上記の提言は学生の視点が完全に欠落しており、これでは私立大学の教育研究に関する運営責任を取ることはできない。特に提言の中核にある学外者のみで構成される評議員会が、学校法人の重要事項の議決と理事及び監事の選解任を自由にできるという制度では、学習者本位

の教育環境は破壊され、評議員が暴走した場合、それを止めることができなくなるのではないかと危惧される。

日本私立大学団体連合会及び日本私立短期大学協会の声明では、評議員の権限は、学外評議員が責任を取れる範囲に収めることが合理的であり、日々の教育研究に関する意思決定に関しては、理事会のリーダーシップを尊重するよう見直すことを求めており、理事会が暴走する場合には、監事が理事会及び評議員会と諮り、相互に抑止する仕組みの構築を提案している。私学はその創立における教育理念、内容、規模等が多種多様であり、建学の精神と各校の発展の歴史的経緯も異なり、それらを無視して、高等教育を担う私立大学・中等教育を担う私立高等学校・中学校、初等教育を担う私立小学校及び幼児教育を担う私立幼稚園を一律の法制度化の中に収めることは明らかに非合理的であると指摘し、私立大学において真の健全なガバナンス体制の構築が図られるようにと強く要望すると表明している。

これらを受け、愛媛県下においてもこの1月、私立大学・専門学校・高等学校・中学校・幼稚園等の理事長及び管理職者からなる私立学校関係者が、愛媛県選出の国会議員の方々の許に赴き、学校教育法及び私立学校法により堅持されている私学の建学の精神、教育理念を尊重するよう陳情書を提出し、私学の現状を説明し、この改革案の撤回を強く求めた。特に戦後廃墟となった日本の私立学校教育において、外国人宣教師が果たした教育的使命は大

きく、今日に至るまで、その信仰に基づく世界観と人道主義的博愛の精神は人格形成に大きく資するものとなったことをここに記しておきたい。

2005年の改正私立学校法施行以降、本学園は、理事及び監事制度を改革し、財務情報等の公開を促進し、理事会への外部理事の登用、監事の評議員との兼務禁止及び監事による毎年の監査報告書の提出等多くの制度改革を実施してきたところである。

この度の私立学校法改正案には、私学関係者による不祥事の再発防止がその根底にあり、今後の寄付行為の根幹に係わる改正となるため、関係機関との十分な検討を行い、理事会及び評議員会それぞれの役務遂行における責任の所在を明確にすることは必要なことであると考えられる。

現代社会において私立学校がその責務を果たすための「法令順守」、「説明責任」、「危機管理」等の原則を全うする義務を負うことは当然のことと認識している。本学園における私学ガバナンスは、私立学校法に基づき、理事会と評議員会が個々の使命と責任を果たし、監事との連携を保ちながら必要な監査及び指摘のもと、教育の質の保証を堅持するという本来の使命を遂行することであり、そこには全教職員の理解と協力が必要であると考えている。今後の審議会（大学設置・学校法人審議会）等の議を経て、教育関係者の声を聴いた文部科学省がどのような法制化を進めていくのか見守りたい。

●2022（令和4）年8月、聖カタリナ大学公式ホームページをリニューアル

今回のリニューアルでは、パソコンの他スマートフォンからも、より快適にご利用いただけるよう構成やデザインを全面的に刷新しました。

みなさまに、より快適にホームページを利用していただけるよう、内容を充実してまいります。

今後とも聖カタリナ大学ホームページをよろしくお願いたします。



●脱プラの大学オリジナルグッズを作成

令和4年度、オープンキャンパスの参加者に配付するオリジナルグッズに、脱プラスチックへの取り組みとして紙製品を導入しました。「クリアファイル」「紙袋」ともに大学案内パンフレットの表紙と連動したイメージで作成しています。



●2022年度聖カタリナ大学キリスト教研究所フォーラム

聖カタリナ大学キリスト教研究所では「平和と希望」をメインテーマに掲げ、フォーラムを開催いたします。新型コロナウイルス感染防止対策にご協力のうえ、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 第1回：令和4年10月11日(火) 16:30~18:00 | 第2回：令和4年11月8日(火) 16:30~18:00 |
| 第3回：令和4年12月13日(火) 16:30~18:00 | 第4回：令和5年1月17日(火) 16:30~18:00 |
| 第5回：令和5年2月14日(火) 16:30~18:00 | 第6回：令和5年3月14日(火) 16:30~18:00 |

●2022年度聖カタリナ大学人間文化研究所フォーラム

聖カタリナ大学人間文化研究所では、フォーラムを開催いたします。新型コロナウイルス感染防止対策にご協力のうえ、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第1回：令和4年9月14日(水) 10:00~12:30 | 第2回：令和4年10月26日(水) 16:30~18:30 |
| 第3回：令和4年11月30日(水) 16:30~18:30 | 第4回：令和4年12月22日(木) 13:00~15:30 |
| 第5回：令和5年1月25日(水) 16:30~18:30 | 第6回：令和5年2月22日(水) 10:00~12:30 |

●強化指定クラブ：女子バスケットボール部 四国地区大学総合体育大会(通称：四国インカレ)優勝

5月21日(土)・22日(日)、徳島県で四国インカレが行われ、女子バスケットボール部が優勝しました。

創部2年目での快挙です。その後、6月6日(月)~6月12日(日)に開催された西日本学生バスケットボール選手権大会に初出場し、2回戦へ進出しました。



●強化指定クラブ：サッカー部 四国インカレ優勝

6月19日(日)、徳島県で四国インカレが行われ、サッカー部が優勝しました。



●強化指定クラブ：剣道部 四国インカレ優勝

6月26日(日)、徳島県で四国インカレが行われ、剣道部が優勝しました。

本大会は女子団体がエントリーし、7年振りに優勝することができました。



●本学学生が第70回四国陸上競技選手権大会・第64回四国四県対抗陸上競技大会の県代表選手に選出

第77回愛媛陸上競技選手権大会において、女子100mで5位入賞を果たした山本美咲さん(健康スポーツ学科4年)が第70回四国陸上競技選手権大会・第64回四国四県対抗陸上競技大会(8月27日(土)・28日(日))に香川県立丸亀競技場で開催の愛媛県代表選手として選出されました(写真:女子100m決勝で力走する山本さん(一番手前))。



●日本パラ陸上 男子走り幅跳びで本学学生が日本記録で優勝

6月12日(日)、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で開催された第33回日本パラ陸上競技選手権大会の男子走り幅跳び(視覚障害T13)で、石山大輝さん(健康スポーツ学科4年)が日本記録を上回る7m3cmで優勝しました。

この跳躍は昨夏の東京パラリンピック銅メダルに相当する記録です。

●本学教員の馬越千里 助教が「とちぎ国体：第43回四国ブロック大会剣道競技」で優勝

本学、健康スポーツ学科教員の馬越千里 助教(剣道部監督)が、8月21日(日)に高知県南国市立スポーツセンターで開催された、「国民体育大会・第43回四国ブロック大会剣道競技」において、剣道競技・成年女子の部(3人制団体戦)の愛媛県代表選手として出場し、見事優勝いたしました。

国民体育大会の本戦出場権は、四国からは優勝した1県のみが得ることができるものです。(馬越助教は通算12回目の国民体育大会出場)



●本学学生がスポーツクライミングユース日本代表に選出、国際大会へ出場

相原麻菜美さん(健康スポーツ学科1年)が、スポーツクライミングユース日本代表に選出され、2つの国際大会へ出場しました。

- ・大会名：IFSCクライミングユース世界選手権グラス2022アメリカ
出場種目：スピード(2022年8月24日(水)～8月29日(月))
- ・大会名：IFSCクライミングユース世界選手権エジンバラ2022イギリス
出場種目：スピード(2022年9月5日(月)～9月12日(月))



●本学学生と愛媛県社会福祉協議会・愛媛県経営青年会との「学生との意見交換会」を開催

6月18日(土)、北条キャンパスにて愛媛県社会福祉協議会・愛媛県経営青年会と社会福祉学科学生・教員による「学生との意見交換会」が開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりZoomによる「施設説明会」のみでしたが、今年度は対面により愛媛県下9つの社会福祉法人の関係者の方と社会福祉学科学生(2年生32名・3年生16名 計48名)の参加のもと、感染症対策を徹底し、対面により開催されました。意見交換会では、参加学生は事前に自身の卒業後の進路や資格取得・実習等に関連した質問項目(社会福祉法人・施設での業務内容と雰囲気、就職活動の実際、労働環境等)を整理するなどの準備を行い交流会に望みましたが、当日は社会福祉法人の方々(施設長・人事担当者・相談員等)に真剣に質問を行いながらも、非常に和やかかつ賑やかな雰囲気の中で3時間の意見交換会となりました。参加学生からは、実習および資格取得について意欲を高めることができた有意義な時間となったとの感想もあり、社会福祉学科では社会福祉法人・施設関係者の方と今後も協力して様々な行事を開催する予定です。



●第2回ホームカミングデーを開催

7月2日(土)、松山市駅キャンパスにて「第2回ホームカミングデー」が開催されました。

看護学科の卒業生23名(1期生9名、2期生14名)が里帰りして、在校生や教員と交流しました。ご参加くださいました皆さま、ありがとうございました。



●本学留学生2名「台北市との小中学校友好交流推進員」に任命

松山市教育委員会より、台湾人留学生の人間社会学科4年生の馬映俠さんと羅少彤さんが「台北市との小中学校友好交流推進員」に任命され、6月8日(水)に委嘱式に参加しました。

2020年度と2021年度の活動が好評であったことから、今年度も引き続き本学の留学生が任命されました。前年度は新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインでの交流となりました。今年度は直接小中学校に訪問し、交流ができればと思います。日台相互理解のため努力してまいりますので、応援のほどよろしくお願いたします。



●第57回松山野球拳おどりで、聖カタリナ学園高校の生徒と本学学生が、優秀賞「NHK松山放送局賞」を受賞

8月13日(土)に開催された第57回松山野球拳おどりに、聖カタリナ学園高校の生徒と本学学生が「聖カタリナ学園連」(高大連携)として参加し、優秀賞「NHK松山放送局賞」を受賞しました。

高校生・大学生らしい爽やかで元気溢れるパフォーマンスをすることができ、全員が達成感を感じるよい活動となりました。

なお、NHK番組名「もっと四国音楽祭2022」にも出演し、元気溢れる踊りを披露しました。

ご協力・ご支援をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。



●令和4年度第22回保育学科公開講座リカレントセミナーを開催

8月23日(火)、保育学科公開講座リカレントセミナーを開催しました。当日は、本学の卒業生を含む県内の幼稚園・保育所・施設で勤務されている延べ48名の先生方に参加していただきました。昨年はZoomでの開催となりましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、換気、ソーシャルディスタンス、検温、健康チェックなどを行った上で開催する運びとなりました。

4つの講座「続・かんたん!感動!!のかがくあそび10選」「遊びの幅を広げよう!」「子どもの健康づくり」「楽器指導を考えてみよう!」を開講し、社会で活躍されている先生方に新たな知識・技術を習得していただきました。

保育学科では、今後も社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援したいと思います。



●第1回鍵盤楽器コンサートを開催

9月13日(火)、聖カタリナホールで第1回鍵盤楽器コンサートを開催しました。

本イベントは、(公財)松山市文化・スポーツ振興財団との連携協定に基づき、北条地域の7つの小学校の児童を対象とし、子どもたちに文化・芸術について広く興味喚起を図ることを目的に初めて行われました。

コンサートでは、演奏者 大澤 宣晃氏をお招きし、チェンバロ・パイプオルガン・ピアノの演奏、各楽器の音の出る仕組み、時代背景などの解説をしていただきました。

当日は、北条地域の小学生約320名(浅海、立岩、難波、正岡、北条、河野、粟井小学校)が参加し、音楽への興味・関心を高めることにつながるイベントとなりました。



◆◆ 令和4年度前期行事 (R4.4.1 ~ R4.9.30) ◆◆

月	日	曜	区	行 事	
4	1	金		新任教職員研修	
			大	教授会、選考教授会、人間社会学科会議、健康スポーツ学科会議	
			短	教授会、人事教授会	
	3	日		入学式	
	4	月		オリエンテーション(～4/5)	
	5	火		学生生活委員会	
	6	水	短	保育学科会議	
	7	木		会計監査(～4/8)	
	9	土		カタリナウエルカムキャンパス	
	13	水		キリスト教研究所所員会、地域連携推進室会議、広報委員会	
			大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、研究倫理委員会看護学科分会	
	16	土		カタリナウエルカムキャンパス	
	20	水		入試・募集委員会	
			大	研究倫理委員会、看護学科実習委員会	
	21	木		図書館委員会、研究紀要編集部	
	22	金		理事会	
	23	土		オープンキャンパス	
	25	月		人間文化研究所所員会議	
			大	研究倫理委員会、大学評価委員会	
	26	火		F D 委員会	
	27	水	大	研究倫理委員会、教職課程委員会、社会福祉学科会議、大学院研究科委員会	
			短	保育学科会議	
	29	金		学園創立記念日	
	5	11	水	大	教授会、教務委員会松山市駅キャンパス会議、健康スポーツ学科会議、人間社会学科会議、母をたたえる日
				短	教授会
		12	木		会計監査(～5/13)
		13	金		公開講座第1回「風早の塾」
					財務委員会
		17	火		母をたたえる日
18		水	大	看護学科会議、社会福祉学科会議、研究倫理委員会	
			短	保育学科会議	
20		金		危機管理対策本部構成員会議	
22		日		オープンキャンパス	
25		水		教学マネジメント委員会	
			大	大学院研究科委員会	
27		金		公開講座第2回「風早の塾」	
			短	研究倫理委員会	

月	日	曜	区	行 事
5	28	土		理事会・評議員会
	31	火		大学見学(聖カタリナ学園高校)
6	1	水		教務委員会松山市駅キャンパス会議、クラブ活動協議会
			大	看護学科運営委員会
	短	教授会		
	3	金		公開講座第3回「風早の塾」
	7	火	大	研究倫理委員会
	8	水	大	研究倫理委員会、教授会、健康スポーツ学科会議、人間社会学科会議、社会福祉学科会議
				大学見学(今治精華高校)
	13	月		大学見学(今治精華高校)
	14	火	大	人事委員会
	15	水	大	大学説明会
			短	保育学科会議
	17	金		公開講座第4回「風早の塾」
	19	日	短	保育学科ミニオープンキャンパス
	22	水	大	教務委員会北条キャンパス会議、看護学科会議、看護学実習委員会
			公開講座第5回「風早の塾」	
24	金		人事委員会	
25	土		評議員会・理事会	
28	火	短	人事委員会	
29	水		学内 F D 研修会、障がい学生支援チーム会議	
		短	中予私立幼稚園合同就職説明会	
30	木		S D 委員会	
7	3	日		オープンキャンパス
	4	月		ボランティアウィーク(～7/8)
			大	社会福祉実習連絡協議会
	6	水	大	看護学科運営委員会
			短	教授会
	7	木	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議
	8	金		公開講座第6回「風早の塾」、危機管理対策本部構成員会議
	10	日	大	オープンキャンパス
	13	水		学長候補者推薦会議
			大	教授会、人事委員会、健康スポーツ学科会議
	短	教務委員会		
	20	水	大	研究倫理委員会、社会福祉学科会議、看護学科会議
	短	保育学科会議		
	22	金		公開講座第7回「風早の塾」
23	土	大	ナイトオープンキャンパス	
25	月	大	看護学実習委員会	
26	火		愛媛県私立短期大学協会協議会	

月	日	曜	区	行 事
7	27	水		教学マネジメント委員会
			大	大学院研究科委員会
	28	木		衛生委員会
大			人事委員会	
29	金		理事会	
8	1	月		将来計画委員会
	3	水		入試・募集委員会、募集広報ワーキングチーム会議
			大	教授会、選考教授会、人事委員会、健康スポーツ学科会議、人間社会学科会議
			短	教授会、人事委員会
	6	土		オープンキャンパス
	7	日		オープンキャンパス
	8	月		聖ドミニコの日
	23	火	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議
			短	保育学科リカレントセミナー
	24	水	短	保育実習連絡調整会
31	水		S D 研修会、大学祭パイプオルガン演奏会実行委員会	

月	日	曜	区	行 事
9	1	木		奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会
	3	土	大	大学院入試
	4	日	大	看護学科教育懇談会
	6	火	大	大学院運営会議、大学院研究科委員会
	7	水	大	看護学科運営委員会
	12	月	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議
	14	水	大	教授会、選考教授会、人間文化研究所フォーラム
	16	金		奨学制度運営委員会
	20	火		後学期履修ガイダンス
			短	教授会
	21	水		前学期卒業証書授与式
			大	看護学科会議
			短	保育学科会議
	23	金		評議員会・理事会
	28	水		就職委員会
			大	大学院研究科委員会、社会福祉学科会議、看護学実習委員会

◆◇ 人 事 ◇◇

《令和4年6月16日付け》

【新規採用】

(北条キャンパス)

入試課

事務職員(非) 高橋 聖子

《令和4年8月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

准教授 中村 五月

《令和4年9月20日付け》

【退職】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 青木 光子

《令和4年10月1日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 石川 愛

《令和4年10月11日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 堀田 保子



※QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。



ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



◆◆ 令和4年度教授会議題（前期） ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

R4.4.1 第1回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復学について
4. 除籍について

R4.5.11 第2回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復籍について

R4.6.8 第3回

1. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

R4.7.13 第4回

1. 科目等履修生の受け入れについて

R4.8.3 第5回

1. 休学について
2. 退学について
3. 復学について
4. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について
5. 聖カタリナ大学 GPAに関する規程の一部改正について
6. 聖カタリナ大学 成績不振学生への修学指導及び退学勧告の運用に関する細則の制定について

R4.9.14 第6回

1. 前学期末卒業の認定について
2. 退学について
3. 休学について
4. 復学について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

R4.4.1 第1回

1. 科目等履修生の受入について

R4.5.12 第2回

- ※報告・連絡事項のみ

R4.6.1 第3回

1. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

R4.7.6 第4回

- ※報告・連絡事項のみ

R4.8.3 第5回

1. 聖カタリナ大学短期大学部 GPAに関する規程の一部改正について
2. 聖カタリナ大学短期大学部 成績不振学生への修学指導及び退学勧告の運用に関する細則の制定について

R4.9.20 第6回

1. 退学について
2. 科目等履修生の受け入れについて

◆◆ 令和4年度クラブ等活動状況 ◆◆

R4.9.1 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
弓道部	5/22	第43回県下宇和島弓道大会	聖カタリナ大学弓道場(オンライン)	3	男子：(団体：出場)
	5/27～29	第66回西日本学生弓道選手権大会	ジップアリーナ岡山	3	男子：(団体：出場)
	7/8～10	第73回四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク弓道場	9	男子：(団体：出場、個人：2次予選進出) 女子：(団体：出場、個人：決勝射詰進出)
	8/10～12	第70回全日本学生弓道選手権大会	日本武道館	10	女子：(団体：出場)
剣道部	8/13	第53回全日本学生弓道遠的選手権大会	全日本弓道連盟中央道場	2	男子：(個人：決勝射詰進出) 女子：(個人：5位)
	4/10	第61回全日本女子剣道選手権大会県予選会	愛媛県武道館	3	女子：準優勝
	4/17	第77回国民体育大会剣道競技(成年男子の部・成年女子の部)選手選考会	愛媛県武道館	7	男子：出場 女子：3回戦進出
	5/15	第69回中四国学生剣道選手権大会 第54回中四国女子学生剣道選手権大会	愛媛県武道館	8	男子：4回戦進出 女子：3回戦進出
	6/25・26	第73回四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク ソイジョイ武道館	8	女子：優勝
	7/18	第70回全日本剣道選手権大会愛媛県予選会	愛媛県武道館	1	男子：出場
硬式野球部	8/28	第69回中四国学生剣道優勝大会 第49回中四国女子学生剣道優勝大会	岡山市総合文化体育館	7	女子：出場
	春季	令和4年度四国地区大学野球連盟春季リーグ戦(1部)	四国地方内	—	4位：5勝8敗
サッカー部	6/24～26	第73回四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク オロナミンC球場	35	3位
	通年	2022四国大学サッカーリーグ(1部)	四国地方内	—	1勝3敗1分(令和4年5月15日現在)
	通年	2022インディペンデンスリーグ四国	四国地方内	—	2勝1敗(令和4年7月10日現在)
	通年	2022年度愛媛県サッカーリーグ(1部)	愛媛県内	—	1勝(令和4年8月28日現在)
	6/11・12・18・19	第73回四国地区大学総合体育大会	四国大学しらさぎ球技場	—	優勝
	7/3	2022四国大学サッカートーナメント	北条スポーツセンター球技場	30	出場

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
女子 バスケットボール部	5 / 7・8・14・15	2022年度全四国大学バスケットボール連盟新人大会	高知県内	9	優勝（全日本大学バスケットボール新人戦出場権獲得）
	5/21・22	第73回四国地区大学総合体育大会	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	9	優勝
	6/6～6/8	第71回西日本学生バスケットボール選手権大会	丸善インテックアリーナ大阪	10	2回戦進出
	6/26	第98回天皇杯・第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会愛媛県代表決定戦	松前公園体育館	10	2回戦進出
	7/4～7/7	全日本大学バスケットボール新人戦	大田区総合体育館	10	出場
男子 バスケットボール部	5/14・15	2022年度全四国大学バスケットボール連盟新人大会	津野町葉山運動公園総合センター体育館	11	出場
ダンス部	8/13	松山まつり「野球拳おどり（団体連の部）」	松山市内	35	優秀賞「NHK松山放送局賞」
バドミントン部	6/24～26	第73回四国地区大学総合体育大会	徳島市立体育館	5	男子：（シングルス：3回戦進出、ダブルス：ベスト16） 女子：（シングルス：ベスト16）
	7/4～7/6	第66回中四国学生バドミントン選手権大会	ジップアリーナ岡山	5	男子：（シングルス：2回戦進出、ダブルス：3回戦進出） 女子：（シングルス：2回戦進出） 混合ダブルス：3回戦進出
陸上競技部	4/16・17	第1回えひめ記録会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	5	男子：（100m4位、200m出場） 女子：（100m1位）
	4/24	えひめ陸上カーニバル	愛媛県総合運動公園陸上競技場	4	男子：（4×100mR6位）
	5/14・15	第77回中予陸上競技選手権大会予選会兼国体選考対象大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	7	男子：（走幅跳1位、100m7位） 女子：（100m2位、棒高飛3位）
	6/3～5	第76回中国四国学生陸上競技対校選手権大会	島根県立浜山公園陸上競技場	5	男子：（100m、4×100mR、やり投出場） 女子：（棒高飛7位）
	7/1～3	第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	1	女子：（100m出場）
	7/16・17	第77回愛媛陸上競技選手権大会兼国体選考対象大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	6	男子：（三段跳3位、走幅跳4位） 女子：（100m5位（第70回四国陸上競技選手権大会・第64回四国四県対抗陸上競技大会の愛媛県代表選手として選出）400m7位）
	7/30・31	佐々木記念西条ひうち記録会	西条ひうち陸上競技場	5	男子：（100m、200m出場） 女子：（100m3位、200m5位）
	8/27・28	第70回四国陸上競技選手権大会第64回四国四県対抗陸上競技大会	香川県立丸亀競技場	1	女子：（100m出場）

体育局（同好会）

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
水泳同好会	6/18・19	第57回中国四国学生水泳選手権大会	香川県立総合水泳プール	2	女子：（100m平泳ぎ9、10位、200m平泳ぎ5位、200m個人メドレー6位）

文化局（部）

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
V Y S	6/12	令和4年度青少年リーダー育成研修会	（オンライン）	1	

文化局（同好会）

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
学生赤十字奉仕団	通年	啓発活動（献血）	愛媛県赤十字血液センター大街道出張所	—	献血の呼びかけ、献血ルーム内の案内
	6/18	青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	日本赤十字社愛媛県支部	5	

その他団体

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
学生ボランティアセンター	7/4～8	ボランティアウィーク	聖カタリナ大学北条キャンパス	—	

◆◇ 研究室探訪 ◇◇

聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 人間社会学科
助教 袴田 渉

私は、2019年4月に本学に着任して以来、「キリスト教学」「宗教学概論」「哲学概論」「倫理学概論」といった、主に全学共通基礎科目を担当し、社会福祉学や心理学、社会学、スポーツ学等、様々な学問分野を専攻する学生たちの知の基盤となるものを育成するよう務めております。

私自身の研究は、「宗教学」という学問分野に根ざして、古代末期から中世にかけてのキリスト教思想とその歴史を専門に扱っています。ここで、「宗教学」という、恐らくはあまり聞き慣れない言葉について、少し説明が必要かと思えます（古代末期のキリスト教思想については、今は措きます）。端的に申して、宗教学とは、「宗教」という観点から人間や社会を見つめ、そこから何が見えてくるのかを考察し研究する学問です。ただし、「宗教」と聞くと、一般にキリスト教や仏教、イスラームといった何か特定の宗教団体のことを思い浮かべるかもしれませんが、ここでいう「宗教」とはそれだけを指すわけではありません。たとえば、お正月に初詣に行くことや、お盆やお彼岸にお墓参りに行くこと、そして亡くなった近親者を葬るお葬式も、ここでは宗教行為に含みます。なぜなら、私たちが神社でお賽銭を投げ入れ、願いを掛けるのは、そこに住まうはずの神々に対してですし、お墓参りで手を合わせて語り掛けるのは、目に見えない死者の霊に向けられているはずですから（「神」とか「霊」というのは「宗教」の言葉です）。また、お葬式についても、たと

えそれが仏教の僧侶といった、特定の宗教の宗教者を介在させない、樹木葬等の自然葬のような形態を取ったとしても、そこに死者の冥福を祈念する、「祈り」の行為が含まれるならば、これも立派な宗教行為と見なせます。こうして見ますと、私たちが日ごろ何気なく習慣的に行っていることの中にも、宗教行為と呼べるものの隠れていることが分かってきます。私たちの生活は、「宗教」とほとんど係わりがないように見えて、実は深く関わっているのです。

従って、「宗教」という視点は、人間とその社会をより深く理解する上で欠くことのできないものと言えます。現に、私たちの生きる社会は様々な形態の宗教現象に溢れており、社会を動かす政治もまた、政教分離の建て前とは別に、決して宗教ときれいに切り離されてあるわけではありません。現代人の宗教離れが指摘され、宗教に拒絶感を抱いたり、あるいは無頓着になりがちな私たちにとって、宗教研究はそれまで気づくことのできなかつた、（古くて）新しい人間理解をもたらしてくれるものになるはずです。さらに、私たちそれぞれの内にある宗教性とそこに発する宗教的欲求への自覚は、私たちを人間的に成長させる大事な契機となるように思います。そのような「宗教」への眼差しを学生たちの内に培っていくことは、私の教育における大切な使命だと感じております。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条6-6-0番地
TEL. 089-993-0702(代)
<https://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp